

令和7年度 生物多様性推進活動優秀賞表彰について

○表彰の対象は、以下の取組を行う功績顕著な学校等

自然の恵み	地元食材や旬の食材、地元の食文化について理解を深める取組
ふれあい	自然体験を通じ、自然と関わる楽しさや厳しさ、その地域の特色を学習する取組
自然表現	絵画や作文などの創作活動により、自然のすばらしさや自然との関わり方を学習する取組
自然保護	身近な自然を対象にして、自然や生きものの調査、保護を行う取組
その他	上記のほか、特に生物多様性の保全に資すると認められる取組

○令和7年度表彰校・取組実績一覧

整理番号	学校名	表彰部門	取組実績
1	村田町立村田第二小学校（全学年）	自然の恵み	J Aの協力を得て、そら豆や紅花の栽培・観察・収穫を行い、地域の農業や自然の恵みに触れる体験的学習を継続している。収穫物を給食で活用したり加工品として発信したりすることで、地産地消や地域特産への理解が深まり、生物多様性のつながりを実感している。地域と学校が連携した取組は子どもの主体性を高め、次世代へ継承される活動として評価できる。
2	涌谷町立箕岳白山小学校（全学年）	自然の恵み・ふれあい	総合的な学習を中心に、地元農家や関係機関と連携した栽培体験、自然観察など多様な体験活動を学年段階に応じて展開している。地域産業や自然と関わる活動を通して生物や環境への関心を高め、持続可能な地域づくりを考える態度を育成している。長期的・系統的な学びにより継続性と普及性を備えた取組として評価できる。
3	石巻市立桃生小学校（6学年）	自然の恵み・ふれあい	地域の特産である「桃生茶」を題材に、茶摘み体験や製茶工程の見学、調査活動、発表会などを行い、自然の恵みと産業との関わりを学んでいる。自ら摘んだ茶葉を味わう体験を通して、生産者の工夫や地域資源の価値に気づき、生物多様性と暮らしの結び付きを実感している。地域と協働した学習は継続性が高く、他校にも広がり得る実践である。